

「ありがとう」の価値

ある経営者から、「社員たちに、感謝の気持ちを植えつけて欲しい」という社員研修の依頼がありました。そこで「ありがとう力研修」を実施しました。そのときの実習の一つです。次の二つの質問をして答えを聞いていきます。新鮮な気付きがあるはずです。

【質問1】あなたの価値はいくらですか？

全員に、まず次のように質問をします。

「あなたの体の価値から考えてみましょう。あなたの指一本、腕一本の値段はいくらですか？仮定の話として想像してみてください。取り外しが自由に10年間貸し出すことができるとしたら、レンタル料としていくら請求しますか？例えば、片腕を誰かにレンタルしている期間、あなたは残った片腕で生活します。片腕のレンタルの金額はいくらでしょうか？」

おそらく大半の人が相当の金額をもらいたいと思うはず

です。ある会社の実習では、1億円という答えが平均値でした。そして、続けて、次の質問をします。

「それでは、腕以外にも、足や眼球、頭、内臓などもレンタルしたとしたら、その総額はいくらになりますか。考えてみてください。」

合計すると10億円以上という答えが大半になりました。例えば、宝くじを当てて億万長者になりたいと言う人がいるけれど、自分の体だけでも1億円以上の価値があるということに気づきませんか。歩く億万長者ですよ。そこで、次の質問をします。

【質問2】「ありがとう」の値段はいくらですか？

次に、「感謝の感情を10年間貸し出すことができる」とします」と説明し、次のように質問します。

「レンタルをしている期間、『ありがとう』の感情がないので、人に何をしてもらっても

「ありがとう」を感じず、相手に「ありがとう」を言うこともありません。職場でも家庭でもあらゆる場所で、一切「ありがとう」と感じないので。その代りに、怒りの感情だけは十分に味わうことができます。いくらでレンタルしますか？」

答えを聞くと、どの人も体のレンタル以上の金額になりました。億の単位でなく1兆円以上という人が大半になりました。

そう、それくらい「ありがとう」には価値があると分かっているのです。そして、気づくことができます。そんな大切な

「ありがとう」なのに、目の前に人に「ありがとう」を言っていないだろうか。例えば、ご両親に恥ずかしくて「ありがとう」が言えないという人がいます。ある有名なお医者さんが本に書いていました。末期がんの患者さんが死ぬときに後悔することの一つは、「愛する人に『ありがとう』を伝えなかったこと」だそうです。

「ありがとう」を言い過ぎて不幸になった人はいません。「ありがとう」を言うべき時に言わなくて不幸になっている人はたくさんいます。

「ありがとう」の価値は1兆円以上と分かった今から、目の前に人に「ありがとう」を伝えましょう。

「ありがとう」よりも「ありがとう」の方が10倍の価値があるそうです。上司お取引先、目上の人には「ありがとう」を伝えます。



ふじさき・としろう

(株)パートナーズリンク代表取締役社長。大阪市立大学経済学部卒業後、大手流通チェーン企業に入社。準大手パチンコホール企業で総括SV、営業企画室長、経営計画部長を経て独立。人事コンサルタントとして社員教育・リスク回避型就業規則作成・クレド作成コンサルティング、評価制度の構築などを行っている。